

第33回

肝類洞壁細胞研究会 学術集会

構造-機能相関の再考

2019

11/30 土

12/1 日



会場

あべのハルカス
会議室 (25階)

当番世話人

池田 一雄

大阪市立大学大学院医学研究科
機能細胞形態学 教授

第33回

肝類洞壁細胞研究会学術集会事務局

〒545-8585

大阪市阿倍野区旭町1-4-3

大阪市立大学大学院医学研究科
機能細胞形態学 内 担当: 宇留島隼人

電話: 06-6645-3701 / Fax: 06-6645-3702

E-mail: urushima.hayato@med.osaka-cu.ac.jp

学会HP: <http://hsrjapan.umin.jp/>



① 日目ランチョンセミナー

共催 アッヴィ合同会社

萩原 智先生

近畿大学病院
消化器内科 講師

「DAA治療によるベネフィット」

調 憲先生

群馬大学大学院医学系研究科
総合外科学講座 肝胆膵外科 教授

「M2BPGiの動態から見えてきた新たな肝星細胞研究の糸口」

② 日目ランチョンセミナー

共催 ギリアド・サイエンシズ株式会社

田中 靖人先生

名古屋市立大学大学院医学研究科
病態医科学 教授・肝疾患センター長

「非代償性C型肝炎に対する最新の治療戦略と今後の問題点」

① ブニングセミナー

共催 MSD株式会社

厚川 正則先生

日本医科大学付属病院
消化器・肝臓内科 准教授

「C型肝炎治療、RWDでわかるDAAの実力」

島 俊英先生

大阪府済生会吹田病院 副院長

「NASH診断における非侵襲的検査の現状」

特別講演

大谷 直子先生

大阪市立大学大学院医学研究科
病態生理学 教授

「腸内細菌関連物質による肝がんの進展メカニズム」